

PALSAR-2データによる干渉画像を用いた中国・珉江流域の地すべり性地表変動の抽出

Detection of landslide surface deformation in Min Jiang watershed, China using PALSAR-2 InSAR image

*佐藤 浩¹、千木良 雅弘²

*Hiroshi, P. Sato¹, Masahiro Chigira²

1. 日本大学文理学部、2. 京都大学防災研究所

1. College of Humanities and Sciences, Nihon University, 2. Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

2017年6月24日、中国・四川省珉江流域の新磨村で1,000万m²オーダーの地すべりが生じ、100人以上が犠牲となった。Sentinel-1データのPSInSARを用いた先行研究によって、この地すべりの前兆が捉えられているが、その後の変化については明らかになっていない。本研究では、ALOS-2/PALSAR-2データについて、2017年12月7日、2018年1月4日、2月1日に観測されたものを用い、従来のInSAR画像を生成して、新磨村とその周辺の地すべり性地表変動を抽出した。その結果について報告する。なお、本研究ではJAXA土砂ワーキンググループおよび東京大学地震研究所特定研究の枠組みを通じてJAXAから提供されたPALSAR-2データを用いた。

キーワード：PALSAR-2、地すべり、予兆現象

Keywords: PALSAR-2, Landslide, precursory phenomenon